

DP 指標	到達目標	対象	配分 (%)	レベル 3(10)	レベル 2(8)	レベル 1(6)
H 未来志向力	一次元・二次元要素を用いて単純化した強度解析ができる。	各回の提出課題 設計・製図演習課題	25	一次元・二次元要素を適切に用いて、強度解析ができる。	一次元・二次元要素を用いて単純化した強度解析ができる。	教員のアドバイスの下、一次元・二次元要素を用いて単純化した強度解析ができる。
H 未来志向力	三次元要素を用いて強度解析ができる。	各回の提出課題 設計・製図演習課題	25	三次元要素を適切に用いて、強度解析ができる。	三次元要素を用いて強度解析ができる。	教員のアドバイスの下、三次元要素を用いて強度解析ができる。
H 未来志向力	JIS 規格に沿った設計ができる。	設計・製図演習課題	15	JIS 規格を理解し、要件を十分に満たす設計ができる。	JIS 規格に沿った設計ができる。	教員のアドバイスの下、JIS 規格に沿った設計ができる。
H 未来志向力	解析結果や設計過程を適切にまとめることができる。	各回の提出課題 設計・製図演習課題	20	解析条件や設計要件を踏まえて、解析結果や設計過程の妥当性を検証できる。	解析結果や設計過程の妥当性を検証できる。	教員のアドバイスの下、解析結果や設計過程を示すことができる。
F コミュニケーション力	解析結果や設計過程を適切にまとめることができる。	各回の提出課題 設計・製図演習課題	15	解析条件や設計要件を踏まえて、解析結果や設計過程の妥当性をわかりやすく報告できる。	解析結果や設計過程の妥当性をわかりやすく報告できる。	教員のアドバイスの下、解析結果や設計結果の要点を適切に報告できる。

※ 「学科 DP 指標」は情報システム工学科の DP (ディプロマ・ポリシー) の項目に対応している。

※ 「到達目標」はシラバスの到達目標の項目に対応している。

※ 「対象」は各評価項目についての評価対象を示している。

※ おおよそレベル 3 が S に、レベル 2 が A に、レベル 1 が C に相当し、成績評価は重み付き和で算出される。

※ レベル 1 に達していない項目が 1 つでもある場合には不合格となる。